

面白いいコドモカルタ

東京女高師附屬小學校 奥 田 兵 治

○

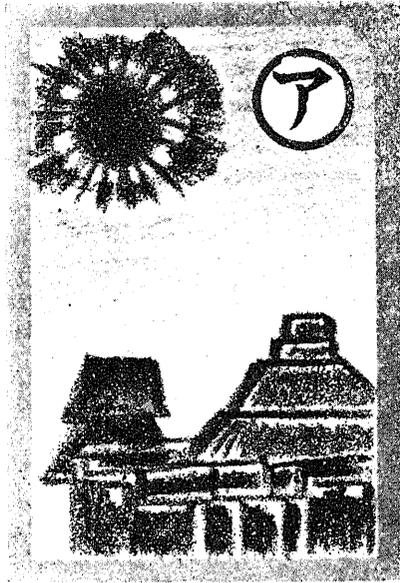
「ゴドモ カルタ」が生まれました。今年のお正月に、日本の幼稚園協會で、おめでたいことあります。本當に祝福すべきことであります。子供さん達はどんなにか喜んでゐることです。さうです。今もなほ喜びつけてゐます。更に今後も喜び樂しむことでせう。永遠の好伴侶として、樂しいお友達を得た子供達のために祝福せずには居られません。

多忙に紛れてゐた爲め私が後れ馳せにお祝ひにかけて行つた頃は、もう可愛い幼稚園の子供達に取り巻かれて賑やかに遊び廻つてゐました。コド

モ カルタ」の立派なお顔をはじめて拜見した私のよろこびは、どんなだつたでせう。桃の中から生れ出た桃太郎を眺めて、大喜びをした、お爺さんにもお婆さんにも決して劣らないものでありました。

その言葉の純真さ。力強さ。ひびきの美しさ。その意味の無邪氣さ、端的卒直で潑刺なこと。その繪の巧妙なこと。大胆、繊細、生々とした活躍振り。形の面白さ、色彩の純美。凡てに純真な子供らしさが溢れてゐるではありませんか。よくもまあ、この子供達が斯くも立派なものを生んだかと驚歎させられてしまいました。

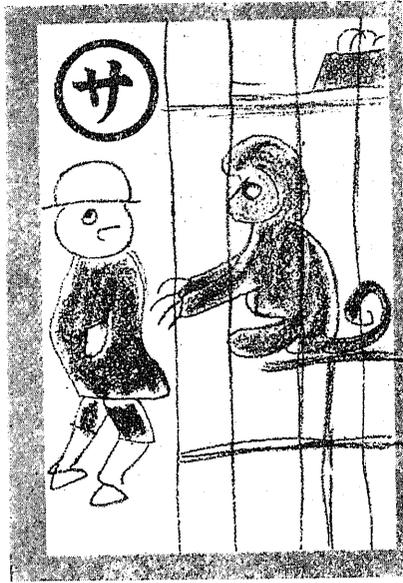
ア、アサヒ ガ デテル。
 イ、イモ ガ コロガル。
 ウ、ウマ ガ ハシル。



エ、エントツ カラ ケムリ。
 オ、オルガン ガ ナツテキル。
 カ、カライ カライ タウガラシ。
 キ、キリン ノ クビ ハ ナガイ。

ク、クシ ニ ササツタ ダンゴ。
 ケ、ケイブルカー ガ ヤマ ニ ノボル。
 コ、コヒーノム ト アタタカイ。
 サ、サル ハ ヒツカク。
 シ、シイ ノ ミ ガ オチテキタ。
 ス、スズ ガ ナル。
 セ、セキセイインコ ガ ナイテキル。
 ソ、ソイツト カクレル カクレンボ。
 タ、タイコ ガ ドンドン ナル。
 チ、チカテツダウ ハ トンネルバカリ。
 ツ、ツエツペリン ハ オホキイナ。
 テ、テントウムシ ガ トブ。
 ト、トンナル ハ クライ。
 ナ、ナンキンダマ ハ キレイダナ。
 ニ、ニンジン タベル ウサギサン。
 ス、ヌット カガシ ガ タツテキル。
 ネ、ネコ ガ ネズミ ヲ トル。

ノ、 ノハラ ハ ヒロイ。
 ハ、 ハチーガ サス。
 ビ、 ビガ モエテキル。
 フ、 フクレタ フウセン。

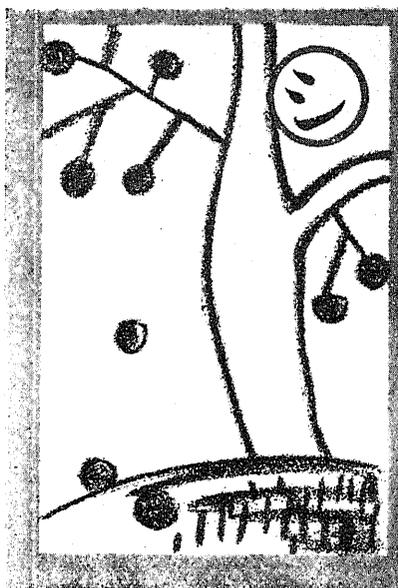


へ、 へビ ハ ナガイナ。
 ホ、 ホシイオクワシ ガ ナクナツタ。
 マ、 マリ ガ ツキタイ。
 ミ、 ミンミン セミ ガ ナイテキル。

ム、 ムシヲ トラウトシタラ マタ ハネタ。
 メ、 メダマ ノ オホキイ キュービーサン。
 モ、 モリ ニ ケダモノ。
 ヤ、 ヤネ ノ ウヘ ノ スズメ。
 ユ、 ユキノ ナカ ノ ユキダルマ。
 ヨ、 ヨロヒヲ キタイ
 ラ、 ラクダ ノ ウヘ ノ タンコブ
 リ、 リンゴ ハ アカイ。
 ル、 ルビー ガ ヒカル。
 レ、 レコード ガ ウタヒダス。
 ロ、 ロバ ガ ニゲル。
 ワ、 ワクノボリ ハ オモシロイ。
 キ、 キナカ デ オイモホリ。
 エ、 エホン ハ オモシロイ。
 ラ、 ラトコ ノ アンビ ハ キシヤゴツコ。

薄桃色に美しく縁を飾られた四十七枚の文と、藍

色に、はつきりと縁を塗られた四十七枚の繪と、
兩方を夫々對照して、文句を読み、繪を眺めて見
るに、そのいづれもが、如何にも子供らしさに満
ちてゐて、しかもそれ／＼に獨特な味を見せてゐ



る。内容の複雑なもの、簡單なもの、大きいもの
小さいもの、あらゆる方面からいろ／＼なものが
集められておもしろい。自然界の現象あり、人事
界の事象あり、動物あり、植物あり、人がゐる、

器具がある。子供達の驚きあり、喜びあり、願望
がある、感歎がある。

○

材料について見るに、子供達の生活に極めて切
實な關係あるばかりである。

一、自然の状景

朝日、野原、森、雪、青空、山、畑、田、案山
子。

二、動物

馬、テントウ虫、蛇、蟬、虫、雀、猫、鼠、蜂
キリン、猿、兎、駱駝、ロバ、セキセイインコ

三、植物

芋、唐辛、椎の實、リンゴ、ニンジン。

四、文明の利器(科學の力)

ケイブルカー、地下鐵道、飛行船(ツエツペリ
ン)、汽車(トンネル)、電燈。

五、玩具、器具、(人工の妙)

レコード、オルガン、タイコ、烟突、椅子、机
子、キュービィ、繪本、鎧、南京玉、風船。

六、遊び
カクレンボ、キシヤゴツコ、ワクノボリ、マリ



ツキ、虫取り、芋掘り、雪遊び(雪ダルマ)等。

七、飲食物
御菓子、オダンゴ、お芋、唐辛、コーヒィ、ニ
ンジン、リンゴ、等。

殊に、生活環境に關係あるものが最も多いのは
争はれない事實としてうなづかれる。即ち、都會
に於ける文明の諸機關、動物、植物其の他の自然
物象。子供の生活の直接對照物である玩具、器具
もつと直接的に生活する飲食物などから採つた材
料の多いことも、至極當然のことであらねばなら
ぬ、是等の物象が旺盛な子供達の求知心、好奇心
を満足させ、視覺、聽覺、味覺の好感にして微妙
なるはたらき等によつて、驚異となり、感歎とな
り、説明となり欲求となり、願望となつて力強く
表はれてゐるのである。繪にも。文にも。

○ 文について、二三述べよう。

一、事實を卒直に正しく認容する。それを端的な
説明として表はす。

アサヒ ガ デテル。

イモ ガ コロガル。

ウマ ガ ハシル。

オルガン ガ ナツテキル。

キリン ノ クビ ハ ナガイ。

ケーブルカー ガ ヤマ ニ ノボル。



等、此の種のものが最も数多く見られる。之等をなほ詳細に心して見るときは、表現の不足からその意味が表面にまで表はれないが、單なる説明でなく、感歎あり、驚異あり、満足があることが

窺はれるのである。

二、願望、希求を遠慮なく表はすもの。

マリ ガ ツキタイ。

ヨロヒヲ キタイ。

ホシイ オクワシ ガ ナクナツタ。

等は最も力強い言ひ方であるが、

クシ ニ ササツタ ダンゴ。

コーヒー ノムト アタタカイ。

フクレタ フウセン。

キナカ デ オイモホリ。

エホン ハ キモシロイ。

ワクノボリ ハ オモシロイ。

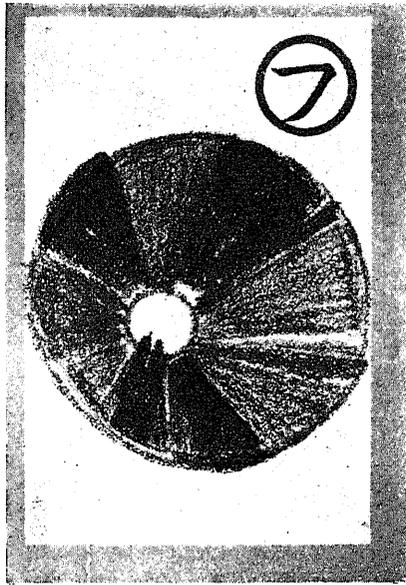
等にも、子供達の好きなこと、欲するものであることがよく察せられるのである。

三、感嘆驚異賞讃するもの。

アサヒ ガ デテル。

オルガン ガ ナツテキル。

セキセイインコ ガ ナイテキル。
 タイコ ガ ドンドン ナル。
 スズ ガ ナル。
 ノハラ ハ ヒロイ。



サンゴ ハ アカイ。
 レコド ガ ウタヒダス。
 ワクノボリ ハ オモシロイ。
 エホン ハ オモシロイ。

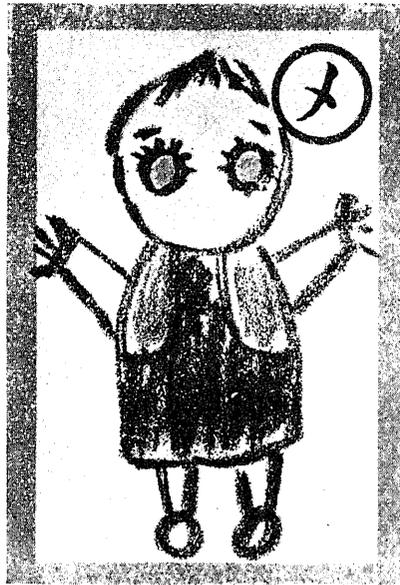
ツエツベリン ハ オホキイナ。
 ヘビ ハ ナガイナ。
 ナンダマ ハ キレイダナ。

なほ詳細に一々についてよく考察をめぐらして
 みるとなか／＼おもしろいことが数々あるが、以
 上に大別して概観しておくことにとめて、次に
 私の感心した二三を述べよう。

一、子供ながらに、その自然観照の鋭いことに驚
 かされた。「アサヒ ガ デテル」といふ。爽快な
 朝日の東天に輝く大きな自然の景趣を讚美する子
 供が、「シイノ ミ ガ オチテキタ」といふ。こ
 とりとこぼれ落ちる小さな椎の實の音に耳を
 はたらかせる敏感さを考へてごらんさい。子供
 は大なる詩人であると嘆賞せざるを得ないではあ
 りませんか。

二、端的によくその真意真情を表はし盡くす力強
 さは見上げたものである。「コイヒー ノムト

「アタタカイ」「ヌット カガシ ガ タツテキル」の如き。前者は「オイシイ」といつただけでは、どうしても物足りない、オイシイことはわかりきつてゐる、もつとよくわからせるには「アタタカ



イ」がたしかに穿つた言葉である。あたゝかさを持つちいしさが、眞實のコーヒーの味ではありませんか。大人も及ばない巧みさではありませんか。「ヌット……タツテル」案山子の姿。豊饒な田

の穰の中に力んでゐる様子をよく表はしてゐませう。「レコード ガ ウタヒダス」「ウタヒダス」をよく氣をつけて読んでみなさい。「ウタフ」だけでは弱い。「ナツテル」に比べたらつと強いが、「ウタヒダス」の妙に較べものにならない。あのゼンマイの力で、サラ／＼と廻轉しはじめたレコードが、節面白く、大きな聲で歌ふ刹那を想像してごらん。確かに「ウタヒダス」ではありませんか。此の種の表現の巧妙さは全く詩です。黄金の言葉と稱したい位です。自然に何のこだはりもなく斯くも口ずさむ子供達には詩人も筆を捨て、歌人も口をつぐむだらう。

三、自然に詩となり、歌となつてゐる。調子、口調のよいこと。韻律のちもしろさ。數回繰り返し読んでみてごらん。いつのまにか歌つてしまひます。「カライ カライ タウガラシ」の「カライ」の音韻を讀んでごらん。其の他、音韻のちもしろいも

のは、「フクレタ、フウセン」の「フ」。「ソトット
カクレル カクレンボ」の「カクレ」の重韻、「ド
ン〜」「ミン〜」や「ネコ ガ ネズミ ヲト
ル」の「ネ」等に氣をつけて、數回讀んでごらん



なさい。自然の節奏があります。たくまざる巧み
とはこれでせう。

四、口調の美しさ。子供らしい調子がよい。

ウマ ガ ハシル } 三、三調。

ロバ ガ ニゲル }

スズ ガ ナル } 三、二調。

ハチ ガ サス }

ノハラ ハ ヒロイ } 四、三調。

リンゴ ガ アカイ }

イモ ガ コロガル }

マリ ガ ツキタイ } 三、四調。

サル ハ ヒツカク }

以上に類するものは、簡單明瞭、卒直な子供の
心情を表はすに好適な調子である。

「フククタ フウセン」の四、四調は快活で、滑
稽味を多分に持つてゐる。

五、其の他いろ〜あるが、終止の音が「ル」で
あるものが非常に多く、その次に「イ」で終るも
のが多いことも文法上興味あることである。

アサヒ ガ デテル。

イモ ガ コロガル。
 ウマ ガ ハシル。
 オルガン ガ ナツテキル。
 ケイブルカー ガ ヤマ ニ ノボル。



タイコ ガ ドンドン ナル。
 ヒ ガ モエテキル。
 ロバ ガ ニゲル。
 等、「ル」で終止するものが四十七中十四ある。

次に「イ」で終止するものをみるに

キリン ノ クビ ハ ナガイ。
 コーヒー ノ ムト アタタカイ。
 トンネル ハ クライ。

ノハラ ハ ヒロイ。

マリ ガ ツキタイ。

リンゴ ガ アカイ。

等、九つあり、なほ

ヘビ ハ ナガイナ。

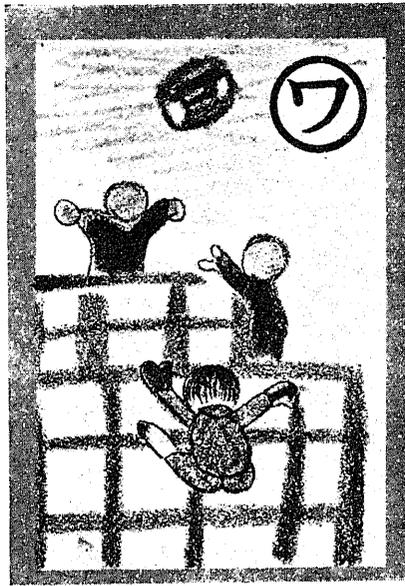
ナンキンダマ ハ キレイダナ。

ツエツペリン ハ オホキイナ。

の、三つも「イ」で終止するものと相似のもの
 であらう。こんなこともおもしろい研究の資料に
 なる。

次に、描かれた繪について調べて、繪そのもの
 から來る感じ、繪そのものの持つ味、繪によつて

表はした子供達の意圖や想像を汲み取ると、なか／＼おもしろく、教育上參考になる數々のものを見出すことが出来る。更に文と繪とを對照して考察するになか／＼おもしろい。純美な、天真な子



供の世界を楽しみつつ、自分がいつのまにか子供の昔にかへつてしまふやうな氣持になつてしまふのであります。

況んや彼等のお仲間入りをして、「コドモ カル

タ」を遊ぶときは、複雑な大人の世界に齟齬して
 焦燥と不安と不満と偽善とに困憊せしめられ、現
 實の切迫した不自由な窮窟さから解放され、洗ひ
 清められることであらう。

